

平成28年度 使用教科図書の採択 について (報告)

北海道教育大学附属札幌小学校

教科名	会社名	採択の理由について
国語	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、相手意識・目的意識を大切にした主体的な言語活動を大切にしている。その観点からすると、各学年の発達段階に応じたポスターセッションやパネルディスカッションなどの活動から言語活用の力が育まれるように構成されているため。 ・「～しよう(てびき)」「ここが大事」「この本で学ぶこと」の頁においては、子どもが先を見通して学習したり、学習を振り返ったりできるようになっており、主体的に学習に臨むことができるため。
書写	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆と毛筆の学習が独立して存在するのではなく、筆使いや点画の接し方の理解、目的にあった筆の使い分けなど、毛筆で学んだことが硬筆に生かすことができるような構成になっている。そのことにより全学年を通じて書写の力を伸ばしていく学習を行うことができるため。 ・子どもたちの興味・関心が継続するように、学習をキャラクターが進めるような構成がなされているため。
社会	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、子ども自らが問題を発見し解決していくことを重視し、そのための基礎・基本となる知識・技能の習得とそれらを活用した思考・判断・表現力、両者の育成を大切にしている。その観点からすると、どの学年においても単元の最後に工夫された学習のまとめ方ができるように構成されており、両者をバランス良く育成する学習を行うことができるため。 ・自分が暮している北海道に愛着と誇りを持つことができるような、札幌市や根室市の身近で具体的な事例が掲載されているため。
地図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、各学年において新たな教材開発を行うことが使命の一つである。3・4年生においては、北海道、札幌市の身近な社会的事象を積極的に取り上げて授業作りを行っている。その観点からすると、本地図帳は北海道や札幌市についての資料が充実しており、子どもの問題解決を支えることができる内容となっているため。
算数	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年においても、身近な子どもの生活から問題場面が構成されており、易しいものから難しいものへと順序良く学習を進めることができるようになっている。また、「ステップアップ算数」の頁では、レベルの違う問題が設定されているなど、子ども一人一人が自分の力に合わせた主体的な学習を進めることができるようになっているため。 ・キャラクターによる学習内容の提示や「広がる算数」のコラム頁など、子どもたちが意欲を継続しながら学習を進めていくことができる構成が工夫されているため。
理科	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の目指す授業で主として使用する教科書として、子どもが事象に目を向け、知的好奇心が喚起される資料や情報が掲載されていることが求められる。その観点からすると、本教科書が、知識獲得に偏り過ぎず問題意識が生れる資料が多く掲載されている教科書であるため。 ・北海道は、本州と比べて植物の成長や昆虫等の活動の様子に違いがあったり、生息する動植物にも違いが見られたりする。そのような地域性を鑑みると、本教科書には、北海道とのかかわりに関する記述が多い特長があるため。
生活	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぐんぐんポケット」「単元チェック」「生活科ノート」など、単元末や巻末に自分の学びを振り返ったり評価したりすることができるような工夫が構成されている。それにより、低学年であっても児童が主体的に学習を進めていくことができるようになっているため。 ・自分たちが住む北海道の地域が教材として取り上げられており、児童が地域のよさを意欲的に見つめることができるようになっているため。

音楽	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの右上に学習を進める上で、中心として扱われる音楽を特徴付ける要素や仕組みが明示されており、児童の理解がしやすいことや指導者が授業を構築する上で明確に授業をつくりやすい。そのため、児童が見通しをもって主体的に学ぶことができるため。 ・〔共通事項〕や楽器名、演奏形態などが色分けされており、どの子にも理解しやすく課題に向かって学習できるよう配慮がなされているため。 ・鑑賞領域において、「聴き取ったこと」と「感じ取ったこと」を分けて記述させるなど、分析的に聴く部分と音楽的な感受の部分の往還しながら鑑賞する能力を高められる工夫が見られるため。
図工	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが作品について発想、鑑賞するときの視点を吹き出しの形で表したり、児童が話し合ったり、互いの作品を見合ったりするような学習の様子の写真が数多く掲載されている。それによって、本校で大切にしている他との関わりの中で自分の力を伸ばしていく学習を、主体的に行うことができるようになっているため。 ・巻末や題材ごとに、授業で扱う材料や用具について詳しく説明されているページがあり、身に付けなくてはならない基礎・基本を習得できるようになっているため。
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・実習している児童の目線の写真や分かりやすい挿絵、「環境」「消費」「防災」などのマークなど、児童が主体的に意欲を持って学んだり、何について学習しているのかを見通して学習したりできる工夫がなされているため。 ・巻頭、巻末の「家庭科の学習」「成長した私たち」のページや、基礎的学習の後に活用型の学習が配置されている構成などによって、児童が2年間を系統的に学習を進めることができるようになっているため。
保健	学研	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感のある紙面構成と、わかりやすいマークの使用等により、全体の流れを見通すことができ、児童が分かりやすく学習を進めることができるため。 ・「かつよう」のページにおいて、身に付けた知識を基に、思考・判断・表現することができること、話し合いや記述、発表などの言語活動を十分に行うことができるため。